

夏休み親子ふれあい現場見学会 2007「共同溝工事」のご案内

記者発表資料

道路の下（40m）になにがある?! 今しか見られない地底の秘密

～ 共同溝探検隊員 大募集 ～

私たちの暮らしを支える電話、電気、ガス、水道、下水道といったライフラインは、道路の地下を利用して、各家庭や学校、会社へ届けられており、それらをひとまとめにして地下に収納するのが「共同溝」です。

今回は、共同溝の役割を理解してもらうとともに、夏休みを利用して親子で「ものづくり」の現場に触れることで、「体験学習」、「夏休みの自由研究」等に有効活用してもらうことを目的に、下記のとおり見学会を開催いたします。

1. 開催日時 平成19年8月22日（水）14:00～16:30

2. 見学会内容

- ①普段は見ることのできない、**工事中の共同溝（新杉田共同溝）の内部**を見学致します。
- ②トンネルを掘るトンネル掘削ロボット「シールドマシン（巨大モグラ）」[愛称：ハマシールド636]の**操作室**をみなさまに公開致します。
- ③工事現場ならではの**楽しいイベント（建設機械操作体験等）**を実施し、みなさまの印象に残るような見学会にしたいと考えています。

写真は昨年（平成18年）の見学会の様子

左：保土ヶ谷共同溝見学の様子

右：建設機械操作体験の様子



申込み等の詳細は、別添「ご案内」をご参照下さい。

ご案内は**当事務所HP** (<http://www.ktr.mlit.go.jp/yokohama/>) にも掲載します。

◎当日取材等希望される方は、下記問合せ先までご連絡下さい。

平成19年7月31日

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、横浜海事記者クラブ、川崎記者クラブ
神奈川県政記者クラブ、横浜市政記者会、横浜ラジオ・テレビ記者会

問 合 せ 先

国土交通省 関東地方整備局 横浜国道事務所

計画課長 土肥 学^{どひ まなぶ} tel 045-316-3536（直通）

共同溝課長 千野 啓次^{ちの けいじ} tel 045-316-3540（直通）

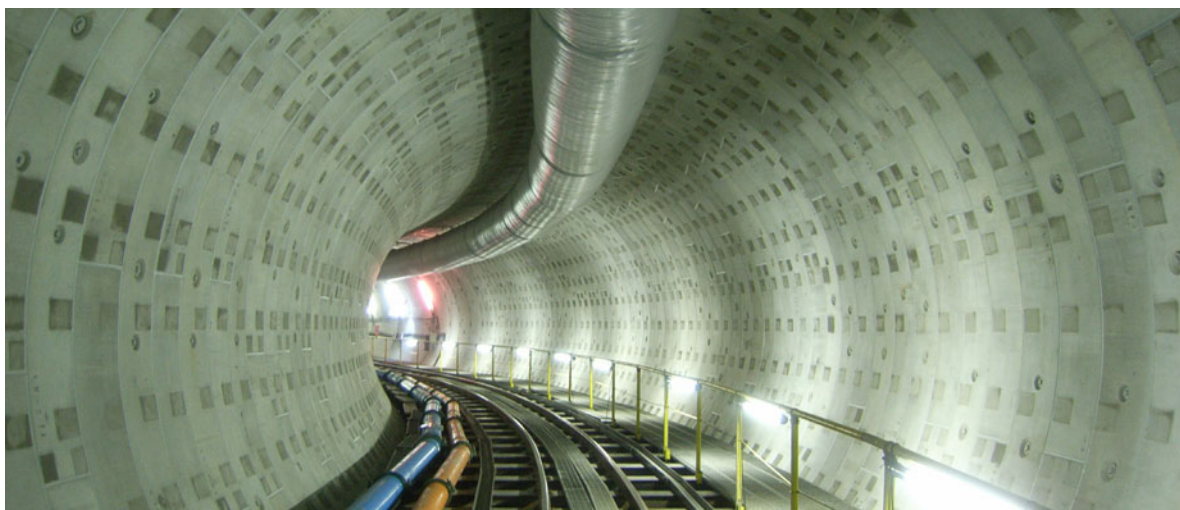
夏休み親子ふれあい現場見学会2007 『共同溝工事』のご案内

道路の下(40m)になにがある?! 今しか見られない地底の秘密 ～ 共同溝探検隊員 大募集 ～

道路の下 深さ40m、鉄道や川の下にも整備されている、くらしの命綱(ライフライン)共同溝。私たちのくらしを支える電話、電気、ガス、上水道、下水道といったライフラインは、道路の地下を利用して、各家庭や学校、会社などに届けられています。それらをひとまとめにして地下に収納するのが「共同溝」で、現在その工事が進められています。

見学会は、普段のくらしの中では見ることのできない、**工事中の共同溝の内部**やトンネルを掘るトンネル掘削ロボット「**シールドマシン(巨大モグラ)**」[愛称:ハムシールド636]の**操作室**を公開します。また、**工事現場ならではの建設機械操作体験等**をみなさまに行ってもらいます。

夏休みの貴重なお時間ですが、「体験学習」、「夏休みの自由研究」として、是非お子さまと一緒にご参加下さい。



日 時: 平成19年8月22日(水) 14:00～16:30

見学場所: 新杉田共同溝

集合・解散: IR根岸線 磯子駅

応募人数: 40名程度(原則小学4年生以上のお子様と保護者)

参加費: 無料

申込方法: お電話にて下記事項を、お申し込みください。

募集は終了致しました。

たくさんのご応募ありがとうございました。

※頂いた「個人情報」は、今回の見学会の連絡及びイベント保険加入用以外には利用致しません。

申込締切: 平成19年8月10日(金)まで

申込お問合せ先: 国土交通省 横浜国道事務所 総務課 親子見学会係 まで

TEL 045-316-3531

※土日祝日を除く午前10時～午後5時まで

注意事項:

- 募集受付は、先着順とさせていただきます。
- 参加者決定しだい、参加にあたっての詳細を「お知らせ」致します。
- 雨天決行(荒天の場合は、中止させていただく場合があります。)

横浜・川崎市内の共同溝の整備効果

- ・ 国道をはじめとする路上工事を大幅に削減、路上工事に伴う交通混雑が緩和されます

未 整 備



横浜・川崎市内の直轄国道における路上工事の半数以上がライフライン等の工事であり交通渋滞の原因になっています

整 備 後



車道を規制する掘り返し工事が減少し、交通がスムーズに流れます

- ・ 共同溝にライフラインを收容することで、大規模な地震等の災害から都市が守られます。



平成7年の阪神・淡路大震災では、道路、鉄道等の交通機関や建物等の倒壊をはじめ、断水や停電、通信ケーブルの損壊等、ライフラインにも甚大な被害が発生しましたが、共同溝に收容されていたライフラインは、被害を受けませんでした。